

日本聖公会

大阪教区報



西宮聖ペテロ教会



東豊中聖ミカエル教会



聖ルカ教会



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
osakakoho2022@gmail.com
発行責任者
総務局長 司祭 金山将司

+++++ 第530号 2026年4月20日発行 +++++

復活の命 くわしたたちの希望

主教 バルナバ 小林 聡

こはやし さとし

「若者は言った。『驚くことはない。十字架につけられたナザレのイエスを探しているのだろが、あの方は復活なさつて、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。』」マルコ16…6

主イエス・キリストのご復活おめでとうございます。最初の復活の証人である3人の女性たちの体験を通して、復活の命に生かされたいと思えます。

週の初めの朝早く墓に行つた女性たちは、そこでイエスの遺体を発見できず、そこにいた白い衣を着た若者の言葉に驚きます。それは「十字架につけられたナザレのイエス」についての言葉でした。聖書学者の青野太潮は、この聖書の箇所を「十字架につけられたままのイエス」と訳し、復活のイエスは十字架につけられたままの姿で復活している

ことを聖書から読み取ります。イエスの復活の姿は、十字架につけられたままの姿で復活しているのだというのです。そのことを思い、黙想する時、十字架の受難と栄光の復活、この2つが復活の命の中にあることを若者、つまり天使から示されていることを感じました。苦難の只中で共に苦難を担う復活のイエスの姿が示され、3人の女性たちはそのことを証しする最初の人々となったのです。

2002年、私は暴力が渦巻くこの世界にあって、子どもたちと平和を生きたいという願いから、アフガニスタンとパレスチナ(ガザ・ヨルダン川西岸)を数日間訪れ、苦難の中に生きる子どもたちや女性たちに出会い、帰国後心がふさぎ込むことがありました。

命が暴力にさらされている戦場と、目に見えて砲弾が飛び交っているわけではない日本での日常のギャップが自分の中で受け止められなかったのです。今も、ニュース等で戦場での爆発や破壊の現場を見ると目をそむけたくありません。しかし暴力からいくら目を背けても暴力はなくならないし、逆に拡大するかもしれません。イエス様は暴力の連鎖を断ち切るために来られました。十字架という目をそむけたくならないような受難の姿を通して。そこから浮き彫りにされる人間の罪や利己的な人間の姿。しかし人の弱さをご存じのイエス様は、十字架につけられたままの姿で復活してくださいました。私が私のみで救われるようにしてくださいました。目をそむけたくなる気持ちを抱えたそんな私のみで、十字架につけられたままのイエス様の前に佇むことを赦してくださいます。

るのです。さあ、復活の主の会に行きましょう。最初の3人の女性たちが立ち上がり、出かけて行ったように、それぞれのガリラヤへ。

「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あなた方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、』」マルコ16…7

（大阪教区主教）

私たちはこの世の暴力に立ち向かう力も勇気もないかもしれませぬ。しかしそこに復活のイエス様がおられるから、私たちは復活の命に生かされるという希望を与えられてい

日本聖公会 大阪教区婦人会 昇天日礼拝・第102回総会

日時 2026年5月14日(木) 10時30分～
会場 石橋聖トマス教会
説教者 執事 ステラ・ミシェル おおくら ゆき 大倉 有紀
献金先 長崎聖三一教会(九州教区)の教会補修
大阪聖三一教会

(大阪教区主教)

第138臨時教区会の報告

去る、3月15日(日)に日本聖公会大阪教区第138定期教区会が開催された。教役者議員13人中参加者は12人、信徒代議員32人中31人が出席した。

小林主教より、開会祈祷、主教演説(全文を後に掲載)され、議員点呼の後、会計検査委員の春名英夫さん(恵我之莊聖マタイ教会)より検査報告がなされ、各会計報告が行われた。

報告の後、議案取り扱い委員より、仮1号議案「2025年度日本聖公会大阪教区決算承認の件」、仮2号議案「2025年度日本聖公会大阪教区一般会計収支余剰金処理の件」、仮3号議案「日本聖公会大阪教区収益事業(不動産貸付業)細則」、仮4号「議案2027年日本聖公会大阪教区宣教協議会開催および実行委員会設置の件」が審議された。また動議があり、仮5号議案として「東豊中聖ミカエル教会の基本財産変更を承認する件」が追加された。議案審議は4号議案について、予算、次期、教役者や教会の現状を鑑

みて反対の声があり、宣教協議会の意義などについて議論があったが、裁決の結果、賛成多数で可決となった。そのほかの議案に関しては特に質疑応答はなかった。

審議の途中動議があり、5時を超えるため、教区会の延長動議が出され、可決した。

17時15分、定刻より15分遅れてすべての議事が終了し、本教区会は閉会された。

(書記 司祭ペテロ金山将司)

主教演説

4月に向けて

共に祈り、伝道し、奉仕し、歩むために

主教 バルナバ 小林 聡

日本聖公会大阪教区

ビジョン2024

1 キリストにつながる先人からの心と働きを、今の時代に即した形で受け継ぐ共同体

(キリストの中で、キリストと共に：愛肉した神、イエス・キリストのみことば)

2 多様な人々が安心して集

い、多様な形で共に祈る共同体

3 すべてのいのちが尊重され、回復され、喜びに満たされる共同体

1. 暴力の連鎖が拡大する中で、主の平和を祈り続ける

2月28日未明、アメリカとイスラエルによる組織的かつ大規模な軍事攻撃が、イラン国内の多数の都市および施設に対して開始されました。その日、エルサレム聖公会首座主教ホサム・E・ナオム主教から愛するキリストにある兄弟姉妹に宛ててメッセージが発信されました。主教は、暴力の連鎖が恐るべき速さで拡大していることを憂いつつ、「圧倒的な武力を前にして、私たちは主イエス・キリストの「平和をつくる者は幸

を要請しておられます。

「第一に、全世界の教会に対し、緊急かつ絶え間ない祈りに加わるように。」

第二に、私たちはキリストにある愛のシエルター(安心できる場、セーフスペース)を互いに提供せねばなりません。私たちの希望は、艦隊の武力やミサイル防衛システムにあるのではなく、「平和の君」のうちにあるのです。

最後に、私たちは「架け橋となる者」であり続けなければなりません。外交の窓が閉ざされようとしている今こそ、教会は和解の扉を開き続けねばなりません。……、私たちは隣人を敵と見なすことを拒絶します。……、今すぐ私たちのために執り成しの祈りを捧げてください。」

2. 4月からの主日礼拝について 祈り、伝道、奉仕(教会問答から)の実践として

私たちの教区は、身近な人や家族、地域、世界中の神の家族に結ばれたキリストの体です。この大阪教区が神様の命に生かされ、神さまからの召しに応答するために、4月以降の歩みをみんなで作る、案を作ってきた。現在、現任教役者の数は

大阪教区21教会の教会数よりも少なく、すべての教会で安定的に聖餐式を行うことの困難さを感じてきました。そのような状況の中、豊かな礼拝を献げる教会の一つとして、すでにいくつかの教会で実践しているみ言葉の礼拝を用いることにより、現役の教役者が他教会の礼拝奉仕に加わる機会を得、教会間協働を意識し、さらに信徒による司式を通して、教役者と信徒、会衆が今まで以上に協働している切っ掛けとなればと考えました。また様々な状況の中でも退職教役者の方のサポートを得やすいようにと考えました。今後、聖餐式の多様な機会を模索し、より豊かな礼拝をみんなで行えるようになっていければと願っています。

教役者の働きにおきましても、それぞれの教会、施設、学校、センター、病院等が、現状を見つめ、どのようにこれから歩んでいくのかを派遣されている教役者と共に考え、それぞれの場でアイデアを出し、決断していくるようにと考えてまいりました。教区として共に考えていきたいと思っております。4月以降、各教会を巡回させていただきますので、是非教会委員会に

参加させて頂き、今後の歩みに
ついて共に協議を重ね、みんな
で思いを分かち合うことによる
安心の交わり(セーフチャーチ)
を大切にしていきたいと思いま
す。(大阪教区主教)

教区会後の学び

セーフチャーチ

勉強会を終えて

ヨシユア 久保 義道

3月15日の臨時教区会に続き、
「セーフチャーチ勉強会」として、

東京教区ハラスメント防止委員

会主催の研修会「セーフチャー

チ・ガイドラインについて」(2

月7日実施)の動画を視聴しま

した。講師は管区ハラスメント

防止・対策担当の西原美香子さ

んです。

内容は

①2019年第17回全聖公会中

央協議会(ACC)の勧告を

受け、2021年に日本聖公

会ワーキンググループ、20

24年にタスクチームが編成

される

②セーフチャーチとは「教会全

体で取り組む安全の文化作り」

のこと

③教会は、社会の中で公共性を

持ち安全性と説明責任が求め

られるので指針(ガイドライ

ン)が必要

④セーフチャーチの活動とは「教

会是谁にとっても安全で安心

な場所である」と約束を示し、

そのために最善を尽くすこと」

⑤セーフチャーチVセーフガー

ディング(教会がとるべき措

置と対策)

⑥ガイドラインの対象領域は「建

物の安全」「教会文化」「行事・

礼拝の安全」「虐待の防止」「教

役者等の行動基準」「ガバナ

ンスと説明責任」「弱い立場

にある人の保護」

⑦教会内で指導的・権威ある立

場の者による「虐待(abuse)

(「京都事件」参照)を防ぐ

⑧虐待(abuse) V ハラスメン

トの関係で虐待は「力関係の

構造」の中で起こる

⑨セーフチャーチの最初の一步

を示したものが「始め方ガイ

ド」で対話が第一

⑩最後に、セーフチャーチは教

会の使命であり福音の表現

終わったあと、こんな言葉を開

くことがあります。そうなった

理由の多くは、人間関係(牧師

と信徒、信徒と信徒、一般信徒

と教会委員など)だと思われま

す。

言葉の行き違い、悪意のある

発言・行為、様々なハラスメン

トは、当然、足を遠ざけること

に繋がります。「セーフチャーチ

」を自分のこととして心に留め、

行動に移し、そして広めていく

ことは非常に大切なことだと感

じました。

(東豊中聖ミカエル教会・

牧会支援委員)

教区婦人会被献日礼拝

テレジア 鈴木 光子

冬の寒さの中にも少し暖かさ
を感じる一日、大阪教区婦人会
の被献日礼拝が尼崎聖ステパノ
教会に於いて開催されました。

司式はバルナバ小林聡主教、
説教はブル学院チャプレンの
バルナバ永野拓也司祭でした。

永野司祭は初めに一人の女性
の話を紹介してくださいました。
その方が子どもを授かったと

き、神さまから子どもを預かつ

たと思ひ、洗礼を受けようと思つ
たし、子どもにも幼児洗礼を受
けさせようと思った。

この女性の視点は神さまとの
繋がりの中で導き出された視点
でした。

その方にとって子どもを育て
ることは神様から与えられた使
命のように感じていたのかわし
れません。

女性が自分に預けられ命を大

切に育てられた様子が伝わり同
時に神様に仕えるという意味で
はないかと思いました。

神様との関係の中で生きてい
る女性の姿に尊敬の念を感じた
出来事でしたと話されました。

日本中の多くの教会で婦人会
だけではなく、高齢化や信徒の
減少により今までと同じような
活動ができなくなっています。

自分の大切なものを僅かでも捧
げようとしたマリアとヨセフの
姿を心に刻み、私たちに出来る
形で自分自身を捧げていくこと。

そのときに私たちはイエスさま
の弟子としての神様の存在を証

する

しできるのだと思います。
との力強いメッセージをいた
だきました。

当日の出席者は87名【内教徒
者10名】献金は12万7800円
でした。日本聖公会婦人会に送

られ神様の宣教の業に参与する
ために学びたいという意欲のあ
る方を応援いたします。

辻節子会長より1926年の
第7回日本聖公会婦人補助会で
2月2日の被献日を「創立記念

日」と定めて今年は100年ですと
いう紹介がありました。
(尼崎聖ステパノ教会信徒)



「大斎始日」(灰の水曜日)の礼拝

(大阪聖アンデレ教会からの報告)

アンデレ 濱野 淳^{はまの あつし}



2026年2月18日(水)、大阪聖アンデレ教会(桃山学院聖アンデレ礼拝堂)にて「大斎始日(灰の水曜日)」の礼拝が行われました。本年は松平司祭の校務や信徒のニーズを鑑み、例年の夕刻から日中13時半からの開催へと変更。チャプレンである司祭の呼びかけにより教職員の参加も見られ、10数名が共に祈りを捧げました。礼拝では昨年用の櫛の十字架を燃やした灰が用いられ、参列者の額に十字の印が刻まれました。

説教ではマタイによる福音書6章から、施し・祈り・断食における「動機」の重要性が語られました。人に見せるための「演技」としての信仰を戒め、他者の評価が届かない「隠れたところ」で神と一対一で向き合うことこそが大斎の歩みであると強調。命の有限さを象徴する灰を通し、己の「無」を認め、地上の虚栄ではなく神の愛に心を繋ぐようと促されました。

学校チャペルも兼ねる当教会から、生徒や教職員、学生たちへ広く福音が伝わることを願いつつ、イースターに向けた40日間の静かな祈りの日々が始まりました。

(大阪聖アンデレ教会信徒・桃山学院中高教諭)

これまでの働きに感謝！ 手話の会「つたえて」

ハンナ 井上 恵美子^{いのうえ えみこ}



これまで教区の様々な礼拝で手話通訳をさせて頂いたり、そして温かく時には厳しく見守ってくださった信徒の皆さまに、また説教原稿を礼拝前日までにご準備くださった聖職者の皆さまに感謝いたします。

手話が一般社会の中で知られ広まってきたのは最近のことだと思えます。ことに、昨年はデフリンピックが東京でも残っています。

開催され、テレビ等で更に注目されるようになりました。大阪教区手話の会は1993年に「手話奉仕者の集い」として始まり、テレビドラムで手話が注目されてきた頃です。それから何年か後「つたえて」となり再スタートしたと聞いています。最初のチャプレンには宇野徹主教、それから磯崎久主教のお名前も残っています。

手話はろう者の言葉です。習得には努力とよほどの根気が必要です。聞こえる私たちの未熟な手話で正しく伝わるのか、反省が多すぎて答えが出ていません。つたえての最終メンバーの私たち3人は同じ頃つたえてに参加しました。地域の手話講習会を終えてすぐですから、ろう者との会話は満足にできず、まして手話通訳は到底出来ません。先輩諸姉からキリスト教の手話や目的を教わり、根気よく勉強するだけでした。手話通訳の資格を持たず、地域の手話サークルで活動を続け、教会の手話に役立てるための努力をするだけです。

キッズフェスティバル 2026

~さがして みつけて イエスさま!~

7月20日(月・祝)

10:00 受付
10:30 オープニング
15:00頃 解散予定

川口基督教会
550-0021 大阪市西区川口 1-3-8

申し込み
友達追加をお願いします
kyoukukids@gmail.com
(子どもプロジェクト 番組みち)

ぴ切 6月21日(日)

持ち物
昼食(おにぎりなど)
水筒

会衆の中に耳の聞こえない人はほんのわずかでしたが、いつ来られても対応できるように準備を怠らないよう学びを続けてまいりました。礼拝中、司式説教者のすぐ横に信徒の私たちが立ち、あなたも自分が説教しているように手を動かしている様子は、見慣れないうちは奇妙に思う人がおられたのではないで

しょうか。

つたえては残念ながら昨年11月の教区礼拝での奉仕を最後に活動を閉じることになりました。祈祷書が新しくなるころに手話通訳の奉仕者が閉じた扉を開いてくださることを望みます。

(高槻聖マリヤ教会信徒)

マリヤ山下 秀子(聖愛)
ユニケ原 禎寿子(トマス)
からひとこと

聖歌の歌詞を聖書と関連した内容や意味を調べ、皆で手話表現を考える時、難しい面もありましたがとても良い学びの時でした。

チャプレンの内田望司祭、古澤秀利司祭ありがとうございました。説教内容を事前に教えてくださりありがたいことでした。

み言葉を理解するうえで、大きな学びとなりました。礼拝で耳の聞こえない人のお役にたてたかどうか、また聞こえる人に手話通訳をご理解いただけたかどうかと思っております。

Osaka Anglican Diocese Holy Communion services in English

大阪教区英語礼拝のご紹介

Chandini Wanduragala

シャンディーニ ワンドゥラガラ

As an Anglican from the UK living in Kansai, I am delighted that the Osaka Anglican Diocese has Holy Communion services in English on most Sundays at various churches in the prefecture. For many years I attended the English service at St. Paul's Church in Chayamachi, Umeda, held on the 4th Sunday of every month. Since January of this year the venue has been changed to St. John's Church in Chuo-ward. Ordinand Veronic Komoda, who is fluent in English, always helps with the service.

The Holy Communion service is based on the Church of England's Common Worship, and is officiated by Fr. Ewan Hume. The Bible readings are from the New Revised Standard Version bible and hymns are from the "Ancient and Modern" and "The Revised English Hymnal". Around ten to fifteen of us attend regularly. After the service, we enjoy fellowship time where tea, coffee and snacks are served.

While I am able to participate in services held in Japanese, it is a real joy to attend an English service at least once a month. Besides, it is also ideal for English-speaking tourists visiting Osaka wanting to attend an Anglican service in English. I hope and pray that more people will attend these precious services.

関西に住むイギリス出身の聖公会信徒として、私は大阪教区がほとんどの日曜日にいくつかの教会で英語の聖餐式をお献げしていることをとても嬉しく思っています。

私は長年、茶屋町にあった大阪聖パウロ教会で毎月第4主日に捧げられる英語礼拝に出席しましたが、今年の1月からは中央区の大阪聖ヨハネ教会に場所を移しました。薦田久美子聖職候補生が礼拝でご奉仕されています。

英語礼拝の聖餐式は英国教会の祈祷書に基づいていて、ユーワン ヒューム司祭が司式を務めておられます。聖書日課はNRSV(新改訂標準訳聖書)を、聖歌はAncient and Modern(古今聖歌集)とThe Revised English Hymnal(改訂版英語聖歌集)を用いています。通常10~15人の人々が出席され、礼拝後は紅茶、コーヒーやスナックをいただきながら楽しい時を過ごします。

日本語の礼拝にも出席できるのですが、たとえひと月に1回であっても英語の礼拝に出席できることは本当に喜びです。また、大阪を訪問中で聖公会の礼拝に出席したいと思っている、英語を話す旅行者に取っても理想的であると思います。これらの大切な礼拝に、より多くの人々が参加して下さるよう望み、また祈ります。

(日本語訳: 聖職候補生 ヴェロニカ 薦田久美子)

第70回管区(臨時)総会報告

聖職代議員 司祭 ジョイ 千松 清美

2026年2月23日(月)、日本聖公会第70(臨時)総会がオンライン(ZOOM)で開催された。11教区より主教議員各1人で計9人(注意・北関東教区・京都教区は伝道教区のため主教議員は無し)、聖職代議員各2人・信徒代議員各2人で計44人、合計53人で、

7件の議案が協議された。大阪教区からは、主教議員小林聡主教、聖職代議員として千松清美司祭と古澤秀利司祭、信徒代議員として寒河江研司氏、加納佳世子氏が出席した。

議案の中心は北関東教区と東京教区が合併して教区の区

2026世界祈祷日報告

マリヤ やました 山下 ひでこ 秀子

NCC(日本キリスト教協議会)女性委員会が主催する世界祈祷日礼拝が、3月6日(金)午後1時半から大阪クリスチャンセンターOCCホールで行われました。

世界祈祷日は、世界中のキリスト教徒が同じ日に祈りをささげる国際的な祈りの日で、現在170か国で行われています。毎年3月の第1金曜日に教派を超えて行われます。

毎年、一つの国や地域がテーマになり、その国の文化や祈りの言葉を中心に礼拝が

行われます。2026年、今年のテーマ国はナイジェリアで「ナイジェリアからのメッセージ」ということで礼拝が行われました。

礼拝では、ナイジェリアの女性達が作った祈りやメッセージを中心にナイジェリアの文化や生活、貧困や教育、女性や子供たちの状況が紹介されました。聖書を読み、賛美歌を歌い、メッセージを朗読。また、日本バプテスト連盟東豊中バプテスト教会の河野浩牧師からも「疲れた者、

域を変更し、新たな教区の設立の承認および合併に伴う法規の一部改正、北関東教区の規則変更の承認であった。7件の議案すべてが賛成多数により可決した。

今後、新教区は第1回教区会を開催し、教区主教選挙、常置委員選挙、総会代議員選挙により決定する。

(石橋聖トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会・庄内伝道所管理牧師)

重荷を負う者はだれでも私のもとにきなさい。休ませてあげよう。(マタイ11・28)から虐待られた人たちと共に居られる神様、のお話がありました。

当日は、大阪キリスト教婦人会連合に属する8教派104人が集まり、聖公会からは30人が出席。献金10万4400円は、国内外の支援を必要とする人々や施設のために用いられます。他教派の方達とともに豊かな礼拝に参加できたことを感謝します。

(大阪教区婦人会・伝道部委員、大阪聖愛教会信徒)

公 示

教主降生2026年3月21日

日本聖公会大阪教区 教区主教 主教バルナバ 小林 聡

主教 バルナバ 小林 聡

3月31日付 聖贖主教会、並びに大阪聖パウロ教会の管理牧師の任を解く。博愛社協力チャプレンの任を解く。

司祭 フランチェスコ 成岡 宏晃

4月1日付 松蔭中学校・高等学校からの要請を受け、非常勤チャプレンの任に就くことを許可する(週2日)。任期は3年とする。

主教 アンデレ 磯 晴久(退)

4月1日付 5月以降、司祭ヒュームウィリアムユーワンのもと第4主日聖ルカ教会、ペテロ金山将司のもと第5主日恵我之荘聖マタイ教会・富田林聖アグネス教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、法規第53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 齊藤 壹(退)

4月1日付 5月以降、司祭ペテロ金山将司のもと、第1主日富田林聖アグネス教会、第5主日聖ルシャ教会の礼拝の協力、並び

に博愛社、聖バルナバ病院、こひつじ乳児保育園チャプレンを委嘱する。ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 岩城 聡(退)

4月1日付 5月以降、司祭ヒュームユーワンのもと第1、第5主日聖ルカ教会、司祭ジョイ千松清美のもと第3主日東豊中聖ミカエル教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 竹林 徑一(退)

4月1日付 司祭ステパノ柳時京のもと川口基督教会嘱託(川口基督教会150年誌執筆担当)を委嘱する。司祭ヨハネ古澤秀利のもと第5主日聖ガブリエル教会での主日礼拝の協力を委嘱する。京都教区からの要請を受け、第4主日京都教区内教会において主日礼拝等への協力を許可する。ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 テモテ 宮嶋 眞(京都教区・退)

4月1日付 司祭ヨハネ古澤秀利のもと第4主日大阪城南キリスト教会の礼拝の協力を委嘱する。桃山学院大学において嘱託チャプレンに任命する。ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

以上

管区U26全国集会

「繋がり」

サムエル 小松 虎ノ介

2月21日から23日にかけてU26という青年の集まりに行っていました。実は今まで一度も参加したことがなく、初めての、そして年齢的に最後の参加となりました。

プログラムのなかでは『あなたと出会い、私を知り...』のテーマのとおり、グループに分かれて聖書の分かち合いや今の自分を作るきっかけを思い返してみるなど、参加者同士の交流に重きを置きつつ、改めて自分と向き合う時間が用意されました。それらを共有していくなかで、正直自分が最年長とは思えないほど周りの参加者達の考え方もしつかりしており、あまり他人に話す機会がない部分だからこそ、自分になかった切り口や経験を聞くことができ、今まで言語化していなかった自分の内側や考え方についても意識する良い機会になりました。また、様々な教区の方が集まっていることからそれぞれの教区・教会の特徴的な部分を共

有し合う時間も有り、特に教会に関する疑問について考える時間では礼拝中に跪く意味やチャントが教会によって違う理由など、言われてみると詳しく知らない事について改めて考えることができたため、教会そのものについての理解も深まったように感じます。

その他野外炊飯や運動会等純粹に楽しめるイベントも盛り沢山で、3日間とは思えない密度で最高の非日常的体験ができました。思えば今回参加できたのも青年大会で仲良くなった方に誘っていただいたのがきっかけで、その方も青年大会をきっかけに青年活動への意欲が湧いたと言っていました。今回また新たに多くの方と知り合うことができ、「次は青年大会も行ってみよう」と言ってくれた方もいて、こうした繋がりがあるとんと輪を広げていくのを身をもって体感しています。

最初で最後の参加になりました。悔やまれるほどによい経験になりました。次回私は参加できませんが、大阪教区からも参加者が増え、教区内での青年活動も活発になっていくことを願っています。

(川口基督教教会信徒)

司祭の書棚から

木村公一著(いのちのことば社、2023年) 非暴力による平和創造〜ウクライナ侵攻と日本国憲法〜

司祭 ステパノ 柳 時京

※後編です。

前号の前編をご参照ください。

この本を通じて教会の関心が西側と西側教会中心なので、相対的によく知られていないロシアとウクライナの地政学的関係と戦争の歴史、そしてその中で共存した教会の政治的浮き沈みの歴史を読むことができました。国家に対する良心の声を失う時、国家主義のいんちき教会になってしまい、政教分離の原則を堅持できない時、信仰の自由が毀損された宗教地政学的闘争の記録は、私たちの教会が同病相憐の心情で見なければならぬ部分と見られます。

「貧しい人々に対する優先的関心」(preferential concerns for the oppressed)として適用される「抑圧される人々に対する優先的な選択/参加」(preferential option for the oppressed people)に拡大しています。そのため、著者の平和議論は人間の社会安全保障、平和的生存権を剥奪された人々に対する視線と選択的参加で一貫しています。

さらに著者は、日本社会に浸透する集団症候群で、軍事力による国家安全保障という妄想にとらわれた疑似カルト国家の様態が世界的に広がっている点を指摘しています。核抑止力、核の傘という軍事同盟の妄想が核のない世界を遮っており、戦争に帰結してしまう危険性を内包した国家安全保障論から脱皮し、民衆の社会安全保障論として日本国憲法を解釈し、適用することを唱えます。そのためには、権力構造の土台を強化する軍事地政学を捨て、日本が侵略した沖縄・アジアの観点を持つことを要請します。他国の安全保障を犠牲にすることで可能な自国の安全保障はカルト国家の幻想に過

国際法違反が明らかなロシアのウクライナ侵攻から始まった戦争を分析しながら、著者はイデオロギー的観点ではなく神学的観点で戦争を眺めるべきだという点を強調します。神学生時代に「貧しい人々に対する優先的関心」(preferential concerns for the oppressed)で学んだ民衆/解放神学のテーゼが、著者が戦争を眺める時に持つ神学的基礎です。すなわち「抑圧される人々に対する優先

「なぜ人間は戦争の誘惑に陥って人間であることをあきらめるのか」という問いとともに、木村家の三代にわたる平和のための人生の話に接し、もう一つの聖書の言葉を引用することで足りない文を結びます。預言者イザヤを通じて私たちが平和の働き手と呼ぶお言葉です。「シオンの嘆く人に灰の代わりに頭飾り 嘆きの代わりに喜びの油を 沈む心の代わりに賛美の衣を授けるために。彼らは義の栄光を現すために植えられた者と呼ばれる。」(イザヤ61:3)

(川口基督教教会牧師)

ぎず、敗戦/終戦80年の期間を通じて日本が果たして何を学んだのかを問い返すこととなります。皮肉なことに、A級戦犯

として巣鴨刑務所で処刑された東條英機が、軍事力の妄想として越えてはならない権力の境界を犯したことを悟ったような遺言を残しました。彼が死ぬ前に悔恨として残した文で言及した宗教経典の一節である「兵科舞踊」(兵戈無用)の教えが非暴力の平和創造で、真の自由の道で、まだ完成されていないがすでに約束された終末論的平和の道につながることを論破しています。

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第2水曜日 川口基督教会

5月13日(水) 10:30~

説教者：アモス 金頭昇 司祭

- 15日 司祭 米村 健治 (1979)
- 24日 伝道師 エメイ 小幡 久能 (1961)
- 29日 司祭 アーネスト・ゴードン・ハチンソン (1973英)
- 30日 宣教師 メーベル・C・バググス (1984英)

6月10日(水) 10:30~

説教者：ステパノ 柳 時京 司祭

- 3日 司祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945加)
- 4日 司祭 オーガスチン 芦沢 光雄 (2002)
- 8日 司祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899英)
- 10日 司祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942英)
- 11日 司祭 ジョージ・デンプシー (1960英)
- 13日 司祭 ダニエル 植村 信久 (1980)
- 15日 司祭 ステパノ 橋本 節 (1996)
- 16日 司祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926米)
- 18日 伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946)
- 19日 司祭 ベニヤミン 東 信行 (1943)
- 20日 司祭 牧岡 鉄弥 (1919)
- 22日 司祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943英)
- 29日 宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944英)
- 主 教 横田 道信 (1946)
- 宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949英)
- 30日 司祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988)
- 司祭 パウロ 水谷 博彦 (2008)

- ・みことばの礼拝勉強会を6月に開催する。
- ・教区報の部数確認を各教会に行っている。
- ・2027年大阪教区宣教協議会に向けて、教会の声を聴くプログラムを実施することを共有。
- ・意見交換した。
- ・教区報の部数確認を各教会に行っている。
- ・2027年大阪教区宣教協議会に向けて、教会の声を聴くプログラムを実施することを共有。

西宮聖ペテロ教会
パウロ 浅野 正三 (3月21日・89歳)

守口聖オーガステイン教会
ユニケ 宇治 清子 (12月4日・105歳)



逝 去

・2016年に発行された「主とともに」の内容を改正して改訂版として増刷することにす。

- 1月・2月の教区会計報告を承認した。
- 2025年度大阪教区決算案を承認した。
- 『日ごとの祈り』の改訂増補版発行について承認した。
- 各委員会よりの報告を共有した。
- 前回議事録の内容を確認し、承認した。
- 第137(定期)教区会の議事録および決議録案を確認し、修正点を反映させた最終版を後日メールにて回覧することとした。
- 第138(臨時)教区会の追加議案として「東豊中聖ミカエル教会の基本財産変更に関する議案」の追加を承認した。
- 2025年度大阪教区決算案を承認した。
- 『日ごとの祈り』の改訂増補版発行について承認した。
- 各委員会よりの報告を共有した。
- 前回議事録の内容を確認し、承認した。
- (臨時)教区会の振り返りを行った。
- 宣教協議会の実行委員選定について宣教局と連携して進めることを確認した。
- 各委員会よりの報告を共有した。
- 浅海由里恵神学生の現状について報告があり、共有した。
- 浅海由里恵神学生と面談を行い、面談後に4月以降の動向について協議した。
- 前回議事録の内容を確認し、承認した。
- (臨時)教区会の振り返りを行った。
- 宣教協議会の実行委員選定について宣教局と連携して進めることを確認した。
- 各委員会よりの報告を共有した。
- 1月・2月の教区会計報告を承認した。
- 4月以降の追加人事について諮問を受け、公示の内容と共に確認し承認した。
- 教役者の休暇・主日のシフトについて現状と課題を共有した。
- 教区礼拝のアンケートを共有し、教区礼拝のありかたについて話し合った。
- 1月・2月の月次決算報告について確認した。
- 2025年度余剰金処理についての教区会議案を確認し、了承した。
- 毎年、指定献金として積み立てられている特別財産(在日韓国朝鮮人宣教資金)より生野センターへの年間100万円の協力金の一部20万円を支出することを了承。
- 定住嘱託牧師の退職司祭には、礼拝協力による講師謝礼は発生させないという財政局の見解を承認した。
- 2016年に発行された「主とともに」の内容を改正して改訂版として増刷することにす。

【常置委員】
【会報】
【報告】

2/25
第6回
(定例)

1. 議事

2. 主教より諮問

3/19
第7回
(定例)

1. 議事

2. 主教より諮問

【局長】
【議報】
【報告】

3/11
第2回